

座談会は昨年からは開始し、昨年は高知県内全市町村（34市町村）を回らせていただき、住民の皆さんといろいろなお話をさせていただきました。若い人達にも高知県全体でどういうことが起ころうとしているのか、それに対して高知県庁としてどのようなことに取り組もうとしているのかということを知ってほしい、そういう思いで、今年から高校生にも参加をしていただいた次第です。実は仁淀高校が真っ先に手を挙げて下さいました。皆さん参加をしてくれて、本当にありがとうございます。

「対話と実行」ということですが、どうして対話と実行なのかということについて、まずお話をしたいと思います。物事をしっかりと実行していくことは大事ですが、その前にしっかりと対話をしていくことも非常に重要だと思います。いろいろな人としっかりとお話をすることによって、その地域がどうなっているのか、どういう課題を持っているのかということが初めて分かってくる。これに対してこういう政策を実行しようとする、必ず私は賛成、でも私は反対といろいろな方が出てきます。そういう反対と言っている方ともしっかり話し合いをして、できるだけ納得をしていただいてこそ、いざ実行する時にうまくいくんだと思います。

私は、住民の皆さん、皆さんのような若い方ともできるだけ話をさせていただいて、私の方からは今後何をしようとしているのかをしっかりとご説明をする。そしてまた皆さんからは、皆さんの思い、今どういうことを考えているかについていろいろと教えていただきたいと思います。

私も「仁淀高校プロジェクト」について勉強させていただきました。皆さんは本当に頑張っていますね。具体的な話を聞かせていただくのを楽しみにしていますので、リラックスをしてお話しをしていただきたいと思います。